

上条 報告

第96号
平成29年5月

甲州市教育委員会
☎32-5076

福蔵院の「不動尊祭り」

四月二日に福蔵院にて不動尊祭りが行われました。地元では「おふどうさん」と呼ばれ、親しまれている神金地区を代表する祭典のひとつです。当日は、稚児行列が福蔵院までの道のりを歩き、本堂での護摩祈祷の後に餅投げが行われます。この祭典は不動尊（木造不動明王立像・市指定文化財）を祀るものですが、この不動明王立像は、現在の寺より東北へ百メートルほど離れたところにあった不動堂に安置されていたものです。

今号では、おふどうさんの様子と合わせて福蔵院の諸堂の改変の歴史や安置されている木像の歴史などについてご紹介します。



満開の桃の花

福蔵院からみた風景（四月三日）。桃の花が満開を迎えています。青空と芽吹いた草花の緑色の中にピンク色が鮮やかに広がっています。

不動尊祭り・おふどうさん

開催日時 四月二日（日）午後一時より



諸堂の改変の歴史

現在の本堂は、大正十四年に建て替えられたもので、その際、西側三間分は不動堂の部材が使用されました（不動堂の部材は丸柱、その東側は角柱が使用されている）。これに併せて、不動堂に安置されていた不動明王立像が本堂に移され、現在に至っています。現在の山門は不動堂にあった仁王門を移築したものです。



福蔵院 本堂



福蔵院 山門

福蔵院に安置される木像

■木造不動明王立像（市指定文化財）



不動堂に安置されていたものです。大正十四年の本堂再建の際、不動堂が解体され、その部材が本堂に使われ、同時に不動明王立像も本堂へ遷座されました。総高二四一センチ、鎌倉時代作の一木造りの立像で、県内の不動明王の中では最も大きいものです。

■木造百体仏（市指定文化財）

木食白道作で、阿弥陀堂に安置されていたものです。阿弥陀堂には白道も一時期滞在したといわれています。明治期の廃仏毀釈によって建物は他の地区へ売却され、のちに百体仏は福蔵院に安置されました。



高さ四〇センチの仏像が九七軀祀られています（全九九軀）制作されたものと考えられるが、のちに二軀が失われ、九七軀が現存）。背面に南無阿弥陀仏と墨書きされています。

四月のいきじゆ

■石和郷土研究部の見学

四月十二日、桜が満開の良く晴れた散策日和に上条を見学していただきました。



■桃の里ノルディックウォーク体験ツアー

が上条で行われました



ノルディックウォークとは、スキーのストックに似た杖を使って姿勢正しく歩くことです。足などに負担をかけずに歩くことができます。



お知らせ

第十二回上条集落見学会

日時 五月二十一日（日）
午前十時～正午
集合場所 福蔵院駐車場
参加費 無料（別途保険料）
申込み 文化財課まで（☎三二五〇七六）

全国伝統的建造物群保存地区協議会

関東・甲信越静ブロック会議・研修会の開催について

伝建地区を有する自治体相互の情報交換及び伝建担当職員の研修会として毎年開催されています。開催地は各伝建地区が交代で務め、今年度は甲州市が開催地となります。二日間の日程で、一日目にブロック会議と担当者研修会を行い、二日目に現地見学会として上条集落の見学会を予定しております。

開催日 八月三日（木）・四日（金）
一日目 ブロック会議・担当者研修会
二日目 現地見学会・宮光園・上条集落
会場：甘草屋敷

詳細は未定ですが、次号以降にお知らせします。